

あしつ 育成だより

23

立教 186年 9月 23日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部

- 特集 ①あしつファミリーひのきしん
夏休みあしつ親子参拝
②各会の夏の行事



《親のことば》

それぞれが暮らした次代や土地所にあって、この道の教えに導かれ、陽気ぐらしをしようと心に決めた人たちみんなが、その決意を世代をわたって受け渡し、受け継ぎながら、親神様の思召にかなう道を探って心を普請し、協力し、たすけ合って進むのが、長い年月がかかるかもしれませんが、親神様の思召にかなう陽気ぐらしへの道であります。そしてそこには、次代を超えた全教の一手一つの和が欠かせません。

(立教 186年 婦人会総会真柱様メッセージより)

旬の理づくり 家族、親子で大教会へ

ーひのきしんや教会参拝を通して

年祭活動1年目の時旬、おちば帰りや教会参拝の励行、またひのきしんやにをいがけ、おたすけなど、御恩報じを通して、理づくり、心づくりに勤しむ。私たちは今、心の成人に向けて勇んで歩ませていただいている最中です。その姿を次代を担う子供たちに映していくことも、私たちにとって大切な役目です。6月には家族揃って大教会で伏せ込もう、と「あしつファミリーひのきしん」を、8月には家族揃って大教会月次祭に参拝しようと「あしつ親子参拝日」を実施しました。

あしつファミリーひのきしん 6/24

6月24日、育成部（山田道弘部長）は大教会において「あしつファミリーひのきしん」を開催しました。

これは大教会の年祭活動の方針の一つである「ひのきしんと伏せ込み」を目的に、親子が揃って大教会に伏せ込む機会として実施し、午前の部には大人22名、子供13名、午後の部には大人16名、子供8名が参加しました。

午前10時に、お願いづとめの座りづとめを参拝した後、事務所前でひのきしんの説明を受け、揃って大教会南側敷地内へ移動。そこでの除草ひのきしんが始まりました。和やかな雰囲気の中、参加者は会話をしながら、除草ひのきしんを行い、子供たちも自分にできる草抜きや剪



定など、一所懸命のひのきしんの汗を流しました。

昼食後、食堂にはおやつや飲み物が用意され、親同士、また子供同士でも会話を楽しみました。

午後からは、館内清掃ひのきしん。信者会館の4階から1階までの廊下、階段のモップがけ、雑巾がけを行いました。

信者会館が終わると、1階事務所回りの廊下をきれいにしました。

ひのきしん終了後は、皆で神殿で参拝をし、子供たちにはお菓子のお下がりが配られました。



参加者からは、「家族で大教会を少しでもきれいにできてよかった。家庭でもひのきしんの精神を子供に映していきたい」といった声が聞かれました。

今回は、10月21日開催予定です。



夏休みあしつ親子参拝 8/23

8月23日には、「夏休みあしつ親子参拝」を実施し、大教会近隣の教会子弟をはじめ約70名の少年会員が、家族と共に大教会月次祭に参拝しました。

この親子参拝は、「教会長子弟育成プロジェクト」の一環として立教180年より始まった夏休みを利用し、家族揃って大教会の月次祭に参拝しようという提唱から始まり、毎年恒例の行事となっています。

祭典終了後には、参拝場で子供用のお下がりを配布し、大勢の子供たちが列をなしました。食堂前では、女子青年の協

力を得てかき氷が配られ、子供たちの笑顔が溢れました。

また夕づとめ後の直会にも子供連れの家族が大勢参加し、大教会長を囲んで、いつも以上に、賑やかな直会となりました。



②夏の各会行事開催

夏は若年層育成のチャンス

—さまざまな行事を通して若者に声をかけよう

お道には若い人を対象とした、さまざまな育成行事があります。子供や学生が故郷・おぢばに帰り、他の場所では味わえない楽しさや喜びを感じることが、信仰を次代へ伝えていくために不可欠です。また、若い人同士が「同じお道を信仰する仲間」となっ

てつながりを持つことは、将来お道を通る上で貴重な財産となります。今号では、4年ぶりに開催された「こどもおぢばがえり」や「学生生徒修養会・高校の部」、芦津独自で開催した「学生会キャンプ」「こかん様に続く会」をレポートします。

こどもおぢばがえり 7/27～8/6

●親里に子供たちの笑顔溢れる●

4年ぶりに開催された「こどもおぢばがえり」には、期間中、約11万3000人が帰参し、親里の夏に、子供たちの賑やかな声と笑顔が戻ってきました。芦津からは、少年会員584名（内わかぎ64名、初参加者207名）育成会員455名、合わせて1039名が帰参しました。

少年会芦津団（加世田洋団長）は、少年会本部からの「1人でも多くの子供とおぢばがえりの喜びを味わおう！」との打ち出しを受けて、事前より、帰参調査や詰所での夜のお楽しみ行事の案内など、各教会に積極的に帰参を呼びかけました。

期間中、詰所では午後6時15分から、5階会議室で夕づとめ遥拝を行った後、芦津団独自の夜のお楽しみ行事がスタート。

5階会議室では「映画上映」、修養科棟修練場では5種類のミニゲームを設置した「あ

しつ広場」、2階大広間では「あしつお化け屋敷」を開催。各所で賑わいを見せました。1階事務所前では、学生会がかき氷、ポップコーン、ジュースの販売を行い、こちらも大勢の子供たちで賑わいを見せました。

また、帰参団体の受け入れには、少年会委員、在籍者、各教会からのひのきしん者が、食事の世話や、各所の清掃など、帰参者が快適に過ごせるようひのきしんに勤めました。

帰参した子供たちには、大教会長からのお土産として、詰所玄関前の大看板がデザインされたうちわを配布しました。

加世田団長は、「久々に子供たちの賑やかな声がおぢば周辺、詰所で響き渡り、充実した期間を過ごせた。来年に向けて、少年会本部の動きに合わせ、独自の行事も検討していきたい」と語りました。



学生生徒修養会・高校の部 8/11～8/14

●向き合うことの大切さ●

8月11日から14日まで、親里で「学生生徒修養会・高校の部」が開催され、全国から701名が参加しました。台風7号の影響により、予定より1日早く解散となりましたが、「陽気ぐらしに必要なこと～向き合うことの大切さ～」のテーマのもと、グループワークや講話を通して、新たなお道の仲間と出会い、共に信仰を育む貴重な時間となりました。

芦津からは14名が参加。「知らない人ばかりで最初は緊張したけど、すぐにみんなと打ち解けられた」といった感想が聞かれました。

参加者は右記の通りです。

八木理栄子・毛利祐太・井上陽・八木雄輝（東大屋）、今村育穂（大正町）、吉田百花（今津原）、加世田汰（大島）、山下朝陽・山下保（芦山都）、棚原夢愛・棚原天夢（沖縄）、白谷龍真・田中穂羽（四ツ山）、徳野直礼（紀周）。



学生会キャンプ 8/16～8/17

●ボランティアと共に清掃活動●

学生生徒修養会・高校の部に引き続き、芦津学生会（木村里香委員長）は、8月16日から17日にかけて、紀周分教会（和歌山県すさみ町）を拠点に学生会キャンプを行い、海や川でのびのびと楽しい時間を過ごしました。学生会活動に初めて参加した学生もいましたが、みんなとすぐに親しくなり、会活動にとって貴重な仲間づくりの時間ともなりました。

また、2日目は教会の朝づとめに参拝した後、台風7号の影響で打ち上げられた砂浜のごみ

を、地元のボランティア団体と協力しながら回収。海水浴場と周辺の駐車場の清掃ひのきしんに汗を流しました。



こかん様に続く会 6/25

●にをいがけを実施●

6月25日、芦津女子青年（北村はぎ乃委員長）は親里で「こかん様に続く会」を開催、13名が参加しました。井筒年子・婦人会芦津支部長からこかん様についてのお話があり、神殿でおつとめを勤めた後、午後からはJR橿本駅周辺で、神名流し、リーフレット配布など、にをいがけ実動を行いました。「初めてにをいがけを実践してドキドキとワクワクでしたが、他人のたすかりを願い、全力でできた」などの感想が聞かれました。



あしつファミリー ひのきしん 10/21(土)



ここから参加
申込ができます

午前の部 10:30開始 ⇒ 12:00終了
 午後の部 13:00開始 ⇒ 15:00終了
 内 容 屋外の整美作業(軍手持参でお願いします)
 雨天の場合、館内清掃
 場 所 芦津大教会
 対 象 芦津につながるみなさん

年祭活動において、大教会の活動方針である
 「ひのきしんと伏せ込み」を家族揃って
 つとめさせていただきます!

旬の理づくり
みんなで
伏せ込もう!

あしつファミリー ひのきしん

ここから参加
申込ができます

10/21(土)

午前の部
10:30 ~ 12:00
 午後の部
13:00 ~ 15:00

芦津学生会総会



10/29(日) 午前10時 芦津大教会

内容:おつとめ、式典、アトラクション



10/8

学生参拝デーの後、詰所でおつとめ練習をします
 午前11時 北礼拝場集合



インスタグラム



ホームページ

①あしつファミリーひのきしん、夏休みあしつ親子参拝

②各会の夏の行事

あしつ 育成だより 23

立教186年9月23日発行
 編集 / 天理教芦津大教会育成部